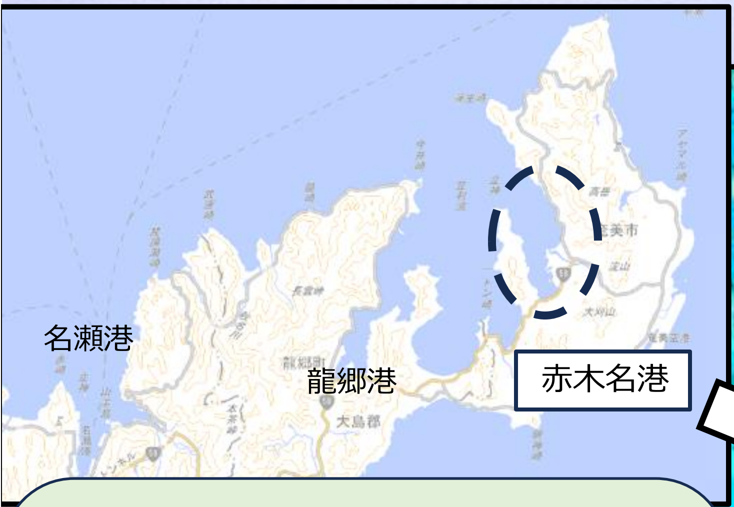
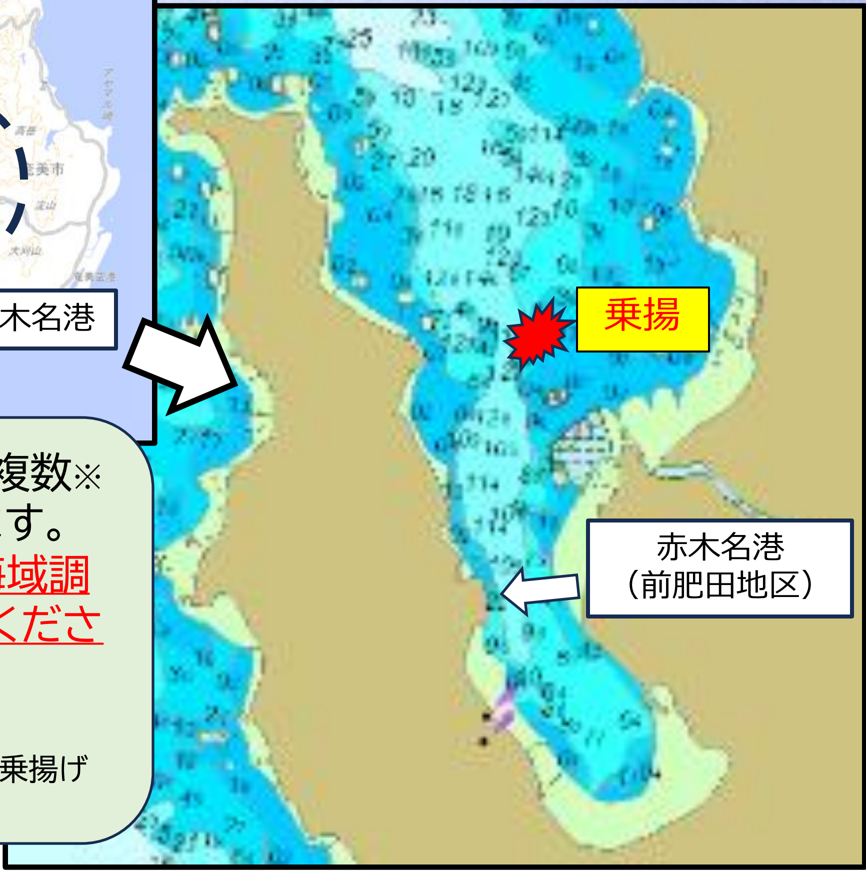
赤木名港（前肥田地区）
入出港時の乗揚げに注意！！

～奄美海上保安部からのお知らせ～

※写真は赤木名港ではありません。





この海域は航路が狭く、過去複数※の乗揚げ海難が発生しています。
<u>海図等であらかじめ十分な海域調査を行い、見張りを徹底してください。</u>

※ 過去2011年、2024年、2026年に乗揚げ海難発生

- **海図等で安全な海域の確認**
- **目視、レーダー、航海計器等、あらゆる手段を活用した見張りの徹底**
- **気象、海象情報の適時収集、安全な航海計画の策定**

JCG **奄美海上保安部**

海の「事件・事故」は
海上保安庁につながる
１１８番

狭水道における安全運航のすすめ

せ　船長が運航！

・船長は狭い水道では自ら運航しましょう。
・船長は、狭い水道の通航時間帯に当直に入るか、同水道に差し掛かったら船橋当直者に報告させて昇橋し、操船の指揮が執れるようにしましょう。

ま　まさかの圧流に注意！

・狭い水道は、周囲の地形が複雑で、潮の流れも微妙に変化するので、風潮流の影響により、危険水域側に圧流されないようにしましょう。

い　いつも船位を確認！

・狭い水道は可航水域が狭く操船が制限されるので、標識、顕著な物標、レーダー、ＧＰＳ等により、常時船位を確かめながら、浅瀬などに近寄らないようにしましょう。
・航行中に船位が分からなくなったら、速力を落としたり、停船し、まずは船位の確認に努めましょう。

す　水路状況を把握！

・発航前に、航行海域を詳細に調査し、航行中も周囲をよく確かめながら水路状況を把握しましょう。
・大縮尺の海図、潮汐表、水路通報、航行警報、航海用電子参考図などを利用し水路状況を調査しましょう。
・航行経験の豊富な人から水路情報を収集しましょう。

い　居眠りを防ぐ！

・疲労を蓄積しないよう、睡眠不足にならないように努めましょう。
・かぜ薬など服用する薬の成分に注意しましょう。
・当直中に眠気を感じたら、船長に報告して当直員を増員したり、休息中の乗組員と当直を交代しましょう。
・眠気を払拭するには、いすから立ち上がって身体を動かしましょう。

ど　どの方向が安全！

・気象、海象によっては、浅瀬等が見えにくかったりするので、予め避険線を設定して危険な水域に接近しすぎないようにしましょう。
・海図の記号や標識の意味を理解し、危険な水域には絶対に侵入しないようにしましょう。
・慣れない狭水道では、できるだけ夜間の航行を避けましょう。

う　うやむや運航禁止！

・複数の当直者が、相手に任せっきりにすることのないよう、互いの認識や判断または操作が間違っていないかチェックし合いながら運航しましょう。

※志摩半島における乗揚・養殖施設損傷事件の分析（H17.3 横浜地方海難審判庁）より抜粋